

2021年4月6日

## ORTHOREBIRTH 株式会社

吸収性骨再生材料「レボシス-J」、国内製造販売承認を取得

ORTHOREBIRTH 株式会社（本社：横浜市都筑区、代表取締役社長：西川靖俊）は、2021年3月29日に当社の綿形状人工骨レボシス-J（一般的名称：吸収性骨再生用材料）がクラスIV区分の医療機器として国内製造販売承認されたことをご知らせします。

レボシス-Jは、骨折、外傷により生じた骨欠損の補填、骨腫瘍をはじめとする疾病の治療により生じた骨欠損などの補填用に開発された骨充填材（＝人工骨）です。β-リン酸三カルシウム、ポリ乳酸・グリコール酸共重合体を主成分とし、生体吸収性に優れることと綿（わた）のような形状であることが特長です。レボシス-Jは2015年より米国で販売し整形外科手術で使われている ReBOSSIS（レボシス）と基本的に同じ人工骨ですが、その ReBOSSIS をベースに国内向けに改良を加えた製品です。

ReBOSSIS シリーズの販売承認については、まず2014年10月に米国で取得、2020年2月に台湾、2020年3月インドとなり、今回のレボシス-Jが4番目の取得となります。

レボシス-Jの製造は、米国向け ReBOSSIS と同じくカイゲンファーマ株式会社（本社：大阪府中央区、社長：中桐信夫）が行います。販売に関しては、KiSCO 株式会社（本社：神戸府中央区、社長：中路歩）と独占契約を締結しています。

### ●レボシス（ReBOSSIS）とは

名古屋工業大学の春日敏宏教授率いるグループの基礎研究をもとに当社が開発したレボシスは、人工骨と言っても硬くはありません。綿のように繊維の絡まった柔らかい骨充填材です。その形状ゆえに、固形や顆粒の人工骨と比べ扱いやすいのが特長です。骨の欠損部分の大きさや形に応じた量を容易に充填できます。そして体内に吸収され自身の骨と置き換わるのも特筆すべき点です。すでに米国で販売され、外傷（トラウマ）および脊椎（スパイン）領域の整形手術で実績を挙げています。

### ●当社のマイクロファイバー製造技術について

レボシスを生んだのは当社のマイクロファイバー製造技術です。当社のマイクロファイバーは生体吸収性が高く、マイクロメートル単位の極めて細い繊維のかたまりであるので、足場材（スキヤフォールド）として最適です。この技術を活かして、研究用の幹細胞抽出培養シートを製品化しただけでなく、レボシスと特殊なタンパク質を融合させた骨再生を促す創薬の開発も進めています。